

新入生 学部ガイダンス・保護者ガイダンス

会場：松本市総合体育館（入学式終了後）

【次第と資料目次】

- 1 工学部長ウェルカムスピーチ（半田 学部長）…………… p2
- 2 学修心得について（大上 学務委員長）…………… p7（学生便覧から抜粋）
- 3 学生生活での注意点（山崎 カウンセラー）…………… p16

閉会（13:00頃）

【この資料は、信州大学工学部ホームページにも掲載します】
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>
 信州大学工学部 > 在学生・保証人の方へ > NEWS&TOPICS

【本日午後の日程】

14：15～17：30頃 学科別ガイダンス（学生のみ）

会場：信州大学松本キャンパス 全学教育機構

物質化学科	42番講義室（4階）
電子情報システム工学科	61番講義室（第2講義棟2階）
水環境・土木工学科	37番講義室（3階）
機械システム工学科	43番講義室（4階）
建築学科	46番講義室（4階）

※その他の日程や持ち物等は、4月3日に配布された資料を参照。

【お願い】 別紙アンケートにご協力ください。

新入生向け・保護者向けともに、午後からの学科別ガイダンス時に回収します。

（保護者の方は学生にお預けください。）

Be a new engineering pioneer



工学部長ウエルカムスピーチ

新入生学部ガイダンス
保護者ガイダンス

平成29年4月4日(火)
松本市総合体育館
工学部長 半田 志郎



工学の 先駆者へ

工学部キャンパスの紹介



工学部キャンパスの紹介

(2年生から。1年時は松本キャンパス)



～長野県長野市～
松本から60分、北陸新幹線で
東京から80分、金沢から65分





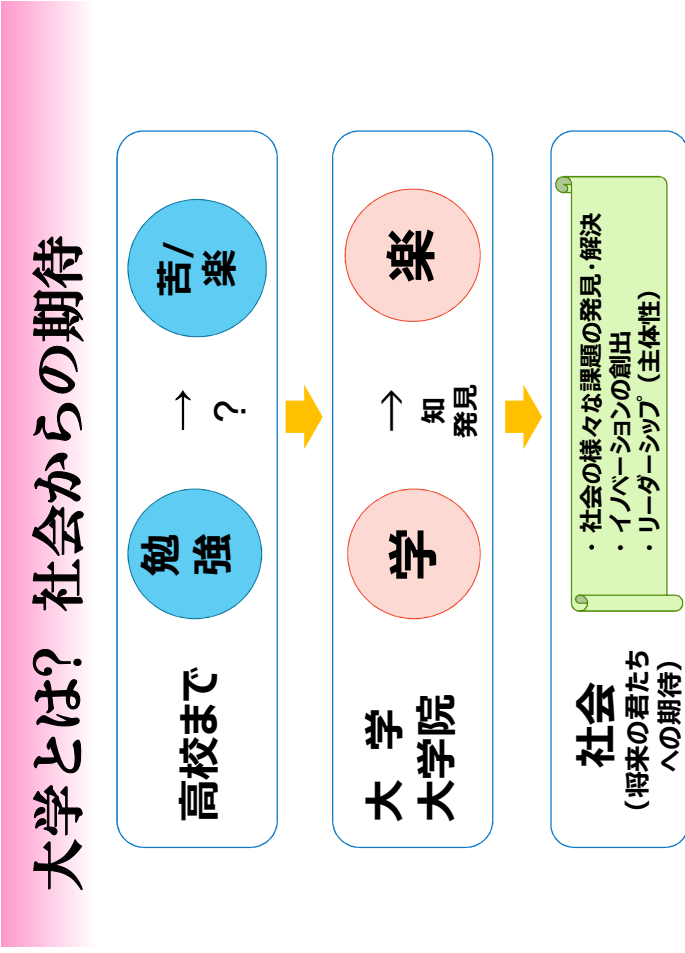
5



6



7



8

工学の重要性

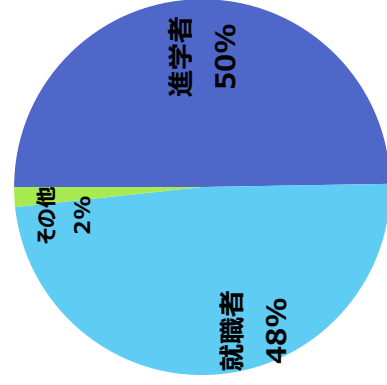
- ❖ 工学：基礎科学を工業生産に応用して生産を向上させるための応用的科学技術の総称
 - 目的は、人々の生活を便利に、楽しく、幸せに
 - 創意工夫によって、世の中に無いものを形に

→ イノベーション

- ❖ 今世紀は科学技術イノベーションの時代
- ❖ 工学の力は、人類の幸福に大きく貢献
 あなたが描く「夢」、それが、きつといつか、
 未来の人々には当たり前になっていきます。

卒業後の進路

卒業生の進路先（2016年3月）



主な進学先



他大学も・・・
 京都大学大学院
 東京工業大学大学院
 横浜国立大学大学院 など

信州大学工学部の特徴

- ❖ 世界と凌ぎを削る最先端の研究活動
- ❖ 技術分野をカバーする多彩な学科&教育プログラム
- ❖ 基礎から応用まで学べる幅広いカリキュラム
- ❖ 環境マインド教育など特色ある学生教育活動
- ❖ 地域企業との積極的な連携
- ❖ 信州大の地域貢献度日本一に大きく貢献

- ❖ 就職に強い工学部
- ❖ 協定校への海外留学

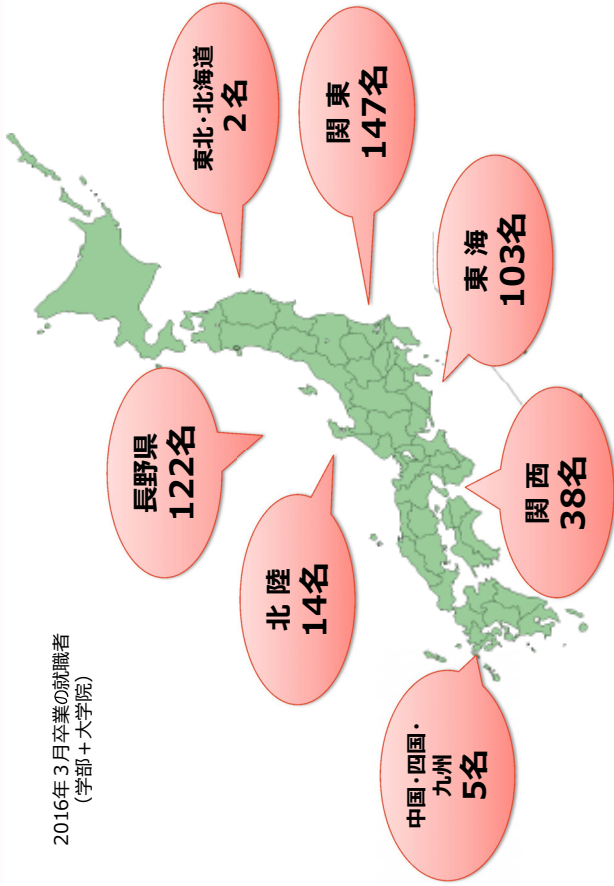
工学部で
 科学技術の基礎を学び
 世界に羽ばたこう

就職に強い工学部

系統名	民間企業求人倍率(2016年3月現在)	
	(学部)	(大学院)
機械系	15.1	21.7
電気・情報系	13.6	13.9
土木・建築系	18.7	39.9
化学・材料系	19.6	16.0

日本全国に広がる就職先（本社所在地）

2016年3月卒業の就職者
(学部+大学院)



13

協定校への海外留学



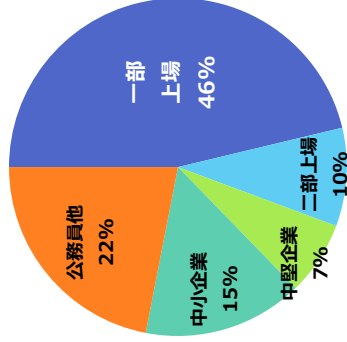
工学部内に国際交流センターの専属のコーディネーターが常駐し、留学に関する相談を随時受け付けている。
長期・短期留学の紹介。現在、海外協定校は21か国62校。

15

企業規模別就職先

2016年3月卒業生分

【学部生】

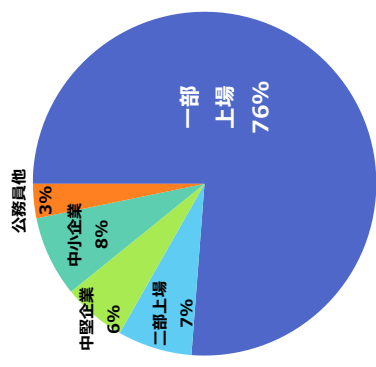


【卒業生の就職先例】

トヨタ自動車、本田技研工業、三菱重工業、アマダ、アインエグプリュ、中部電力、JR東海、JR東日本、国土交通省、名古屋庁、市役所、大林組、清水建設、大成建設、鹿島建設、日亜化学工業、花王、横浜ゴム、メニコン、小野薬品工業、セイコーエプソン、日立製作所、シャープ、東芝、三菱電機、デンソー、NEC (ほか)

14

【大学院生】



信州大学工学部 後援会

在学生の保証人(親等)の団体で、学生の様々な活動をサポートする会です。

【保証人の方へ】

大学生生活が軌道に乗るまでは、付かず離れず、見守ってください。



毎年8月にイベント開催

- ・総会
- ・学科別イベント
(研究室見学・就職状況説明など)
- ・教員との懇親会

平成29年度は、
『8月4日(金)午後』
工学部キャンパス(長野市)で
開催予定 (1カ月前頃に会員へ通知します)

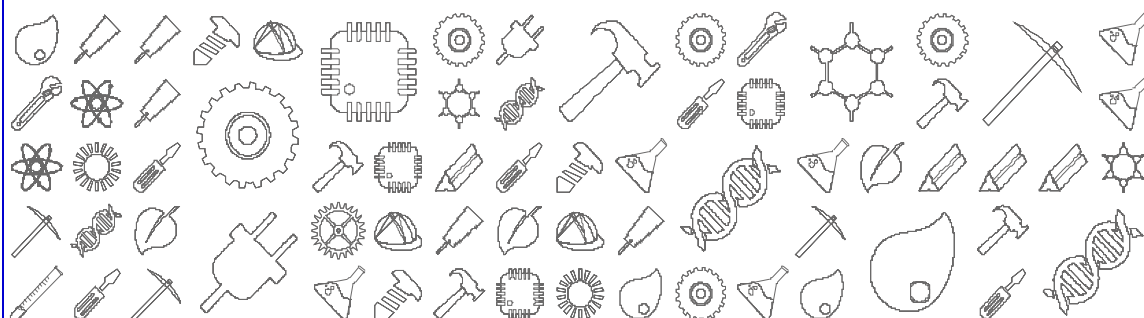
16



学生便覧

平成29年度入学生用

抜粋版



Be a new engineering pioneer

信州大学 工学部



学修心得

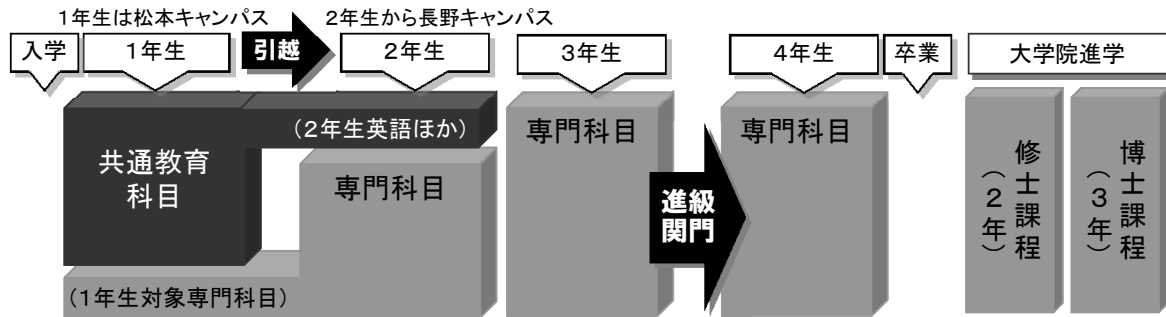
はじめに

本学生便覧は、信州大学学則、工学部規程などの諸規程を中心に、本学学生として学生生活を送るために、必要事項を定めたものであり、極めて重要なものである。入学時において、よく理解・把握しておくこと。

平成29年度入学生（17Tカリキュラム）の履修については、後ページ「各学科別の履修要件表」、 「共通教育履修案内」及び学科ガイダンス等に従い履修計画を立て、進級・卒業要件単位を充足すること。

なお、本「学生便覧」及び各学科で配布される資料は卒業まで紛失することのないよう、注意すること。

カリキュラムのしくみ（工学部の入学から卒業までの教育プログラム）



■「共通教育科目」の構成……科目名等は例示。詳細は共通教育履修案内、各学科別の学修心得を参照。

区分名		授業科目名	
教養科目	教養ゼミナール群	大学生基礎力ゼミ	
		技術とエネルギーの入門ゼミ	
	環境科学群	……他	
		環境社会学入門	
		水の環境科学	
		……他	
		……他	
人文科学群	……他		
社会科学群	……他		
自然科学群	……他		
体育・スポーツ群	……他		
基礎科目	外国語科目	英語	
		ドイツ語	
		フランス語	
		……他	
	健康科学科目	健康科学・理論と実践	
	新入生ゼミナール科目	新入生ゼミナール	
	基礎科学科目	数学	微分積分学Ⅰ
			線形代数学Ⅰ
		……他	
		物理学	……他
化学		一般化学Ⅰ	
生物学	……他		
日本語・日本事情	日本語……	※留学生対象	

【学期】

本学の授業は、1年を2学期に分け、それぞれを前期と後期と呼ぶ。

⇒【2年生対象】英語（必修）4単位もあり

教養科目以外は
所属学科別に指定された授業科目を受講
(同じ科目名でも内容が異なる場合あり)
※「共通教育履修案内」科目一覧表の
対象学生欄を参照

⇒2年生対象基礎科学科目もあり（学科により異なる）

←特に一般化学は同じ科目名でも学科により内容が異なる

■「専門科目」の構成……科目名等詳細は、各学科別の学修心得のページを参照。

各学科ごとに科目名や必修・選択の別は異なる。

共通教育科目・専門科目とも下記については、各学科別の学修心得を参照すること。

- 卒業要件単位〔卒業に必要な単位数〕 ……区分ごとに必要単位数を定めている
- 進級要件単位〔進級に必要な単位数〕
- 必修科目、選択科目

■キャンパス移動

1年次は松本キャンパスで、2年次以降は長野（工学）キャンパスで授業を受ける。

松本キャンパスでは、入学時に「共通教育履修案内」及び「学生生活案内」が配付される。ガイダンス等で説明があるが、よく読んでおくこと。わからない事があった場合は、担任教員、全学教育機構共通教育窓口又は学生総合支援センター窓口へ早めに相談すること。

長野（工学）キャンパスでは、2年次進級時に各学科別ガイダンスが実施される。各学科の学務委員又は補導教員の指導に従って、履修もれの無いようにすること。

■進級関門

1年次から2年次への進級は、休学しない限り全員進級して長野キャンパスに移動する。ただし、**長野キャンパスへ移動後に1年次の修得もれ科目を履修することは、キャンパス間が離れているため、移動時間により2年次必修科目等を履修できないなど不利益が生じ、その結果、4年次への進級関門時に留年する可能性が大きくなる。1年次は、絶対に修得もれ科目がないようにすること。**

3年次から4年次への進級は、条件を満たしている者のみ進級できる。各学科において、3年次終了までに修得することとしている授業科目及び単位数の修得が条件である。詳細は、「各学科の履修要件表」等のページ及び学科ガイダンスで確認すること。

なお、進級の時期は、通常4月であるが、留年者等を対象とした10月進級の制度もある。詳細は「進級に関する申合せ」のページを参照すること。

■卒業要件

卒業に必要な最低限の単位数（卒業要件単位数）は、学科ごとに定められている。必ず、所属学科の履修方法等のページや、「履修要件表」を参照すること。

なお、卒業の時期は、通常毎年度3月であるが、留年者を対象とした9月卒業の制度もある。詳細は「9月卒業に関する申合せ」のページを参照すること。

■授業時間（共通教育科目・専門科目で共通）

時限	1	2	昼休み	3	4	5
授業時間	9:00 ∪ 10:30	10:40 ∪ 12:10		13:00 ∪ 14:30	14:40 ∪ 16:10	16:20 ∪ 17:50

■授業の欠席

本学では、いわゆる授業の公欠制度はない。急病や近親者の葬儀等でやむを得ず授業を休まなければならない場合は、授業担当教員に直接説明すること。

■単位とは

大学で開設される授業には、講義のほか、演習（少人数での報告・討論を中心とした学生参加型の授業形態。ゼミ）や実習・実験などの種類があるが、すべてに単位数が定められており、授業に出席の上、課題をこなし（これが「履修」）、試験を受けて合格すれば定められている単位が認定される（「修得した」）。

時限とコマ

本学の授業時間は1時限（1コマ）が90分であるが、単位計算上は2時間で算出する。

標準は1コマ半期で2単位

本学での標準的なパターンは、週1回1コマの授業を1学期間（前期又は後期15週）履修すれば、2単位修得できるというものである。1単位とは、大学設置基準第21条によると、「45時間の学修を必要とする内容」のことで、「講義及び演習については、15～30時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする」ということである。つまり、45時間のうち、15時間が大学での授業で、残りの30時間は大学外での勉強時間（予習や復習などの自学自習）と見ることになる。だから、1時間ずつ1学期間15週授業をすれば、1単位と見てよいことになり、週1回2時間（実際には90分だけ）の1学期間の授業が2単位になる。1単位につき2時間として、2単位の授業1回につき4時間は自学自習をすることになっているので、履修登録できる単位数に上限がある。なお、科目により、単位数が異なるものもある。

↓（根拠）工学部規程

講義	週1コマ×15週で2単位	15時間の授業で1単位
演習	週1～2コマ×15週で2単位	15～30時間の授業で1単位
実験・実習	週2～3コマ×15週で2単位	30～45時間の授業で1単位

■教育職員免許状の取得について

教員免許状を取得しようとする者は、指定された科目を定められた単位数だけ修得しなければならない。

なお、取得できる免許状の種類や指定科目等は、学部・学科によって異なるので、詳細は後ページ「教職課程履修の手引き」を参照の上、各種教職ガイダンスには必ずすべて出席すること。

■飛び級による大学院入学制度

大学に3年以上在学し、本学大学院総合理工学研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた場合は、特別選抜試験により大学院に入学できる。

履修計画の立て方（自分の時間割を組む）

Step 1

学生便覧等をよく読もう！

平成〇〇年度
入学生用
学生便覧

各学科の
手引き等
(学科で提示
される資料や
ガイダンス)

＜履修案内＞
・科目一覧
・時間割表

「履修案内」は毎年配布
(時間割は毎年変わる)

- まず所属学科の卒業要件単位数を調べよう。
- 次に区分に注意しながら、所属学科の学期あたりの登録上限単位数を確認しよう。

履修計画を立てる前によく把握しておくこと

卒業要件単位 対象学年 科目の区分

掲示板で変更点の確認も忘れずに。(便覧等の内容に変更がある場合は掲示等により周知する)

★注意★ 特に1年生の科目は絶対に落としてはいけない。
落とした科目は長野から松本へ通学(俗称ツウマツ)しなければならず、
移動時間等で2年生の授業が履修できないなど、結果的に留年する可能性大！

Step 2

必修科目と対象学年をチェック！

学期とシラバスを
まずチェックしよう

今年とらなきゃ
いけない科目は
何？

- 必修科目は学科により異なる。(選択必修科目もあり)
- 必修科目は自動登録ではない！

Step 3

その他の選択科目をチェック！

シラバスチェック！
履修資格(対象学部等)があるか？
人数制限(抽選等)を行う科目もあり

- 空いている時間に履修する科目を探す。
- 履修登録上限単位数は超えていない？

Step 4

Webサイト「キャンパス情報システム」 から履修登録(コード登録)

履修登録の方法は、
「履修案内」冊子を参照

登録は学期ごと
年2回(4月と10月)

- コードは「正しく・確実に」登録すること
- 同じ科目名でも対象学生ごとにコードが異なるので注意！

Step 5

履修登録の確認

確認の方法や期間は、
「履修案内」冊子を参照

- 【確認】 Webサイト「キャンパス情報システム」
又は「証明書発行機」の履修登録確認表
- 【訂正】 Webサイト「キャンパス情報システム」

登録が完了したかどうかの確認までが
学生の責任です。確実に確認・訂正を！

履修登録上限単位（キャップ制）について

前ページの「単位とは」で説明したとおり、大学での勉学は授業での学習に加えて、出席する授業の予習、復習を含む十分な自学自習の確保が前提となっている。こうした趣旨から、平成27年度学部入学生から、1学期に履修登録できる単位の上限が学部・学科ごとに定められている。（この制度をキャップ制という）

■各学科の履修登録上限単位数について

学 科	登録上限単位数								備 考	
	1年次		2年次		3年次		4年次			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
物質化学科 電子情報システム工学科 水環境・土木工学科 機械システム工学科 建築学科	24	24	48		48				-	

■注意事項

対象科目は、卒業要件となる科目である。詳細は各学科の専門科目一覧表を確認すること。

履修登録単位数の上限を超えて履修することはできない。

1年次においては、前期の成績が優秀な学生で学部長の許可がある場合には、後期に個々の学生ごとに履修登録単位数の上限が緩和されることがある。（後期に入る前の掲示にて周知する。）

履修取消について

履修登録した授業の内容が、見込みと違った場合、またそのまま続けても成績の見込みが立たない場合、あるいは何らかの理由により受講が出来なくなった場合、その授業の履修登録を取り消すことができる。

■履修取消期間

前期・通年科目・・・ 5月末日まで

後期科目・・・・・・ 11月末日まで ※ただし、土日祝は含まない。各月最後の平日が最終期限

■履修取消方法

期限までに、共通教育支援室または学務係窓口に所定の願を提出することで履修を取消することができる。授業担当教員の確認印（またはサイン）が必要となる。

■履修取消した授業の扱いについて

履修取消した授業科目は、履修登録上限単位数に含まれ、成績通知書に「取消」と記載される。ただし、GPAには算入されない。

■注意事項

履修取消した授業の代わりに、新たに授業を受けて履修登録を追加することはできない。

履修登録の追加や修正は、定められた履修登録期間及び履修確認期間のみ可能となるため、注意して計画をたてること。

GPA制度について

信州大学では、学生が適切に履修計画をたて、自主的、意欲的に学習することを促すとともに、適切な修学指導に資することを目的として、平成26年度学部入学生から、「GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度」を導入する。

このGPAは、世界の大学で広く用いられている学生の成績評価方法である。会社に就職する、大学院に進学する、海外の大学に留学するような場合に応募先での採否の判断となるものである。

教員は、GPAを活用することにより成績不振学生を早期に発見し、適切な指導に繋げることができる。

■GPAについて

「GPA」とは、秀、優、良、可及び不可の5種の評語をもって表した成績の単位数に、それぞれの科目のGP（Grade Point）を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、GPの平均値（Average）である。評語と評点とGPの関係を以下に示す。

評語	評点	GP
秀 (S)	90-100	4
優 (A)	80-89	3.33
良 (B)	70-79	2.67
可 (C)	60-69	2
不可 (D)	50-59	1
不可 (F)	0-49	0

※各科目の単位修得には、「可」以上が必要である。

■GPAの計算式について

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP〕の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数（不可（D・F）を含む、履修取消した授業は除く）合計}}$$

【GPAの計算例】

授業の成績	GPの計算
科目A（2単位）でB（良）を取った	$2.67 \times 2 = 5.34$
科目B（4単位）でA（優）を取った	$3.33 \times 4 = 13.32$
科目C（2単位）でD（不可）を取った	$1.00 \times 2 = 2.00$
科目D（4単位）でS（秀）を取った	$4.00 \times 4 = 16.00$
科目E（2単位）でF（不可）を取った	$0 \times 2 = 0$

$$\begin{aligned} \text{GPA} &= (5.34 + 13.32 + 2.00 + 16.00 + 0) \div (2 + 4 + 2 + 4 + 2) \\ &= \frac{36.66}{14} \\ &= 2.62 \end{aligned}$$

※小数第3位を四捨五入した数値を小数第2位まで表示し、その値をGPA値とする。

1. 履修登録した科目のうち、GPAの計算式に入らない科目がある。

- ① 成績を「合格」・「不合格」で評価する科目
 - ② 他大学等で単位修得し、本学が「認定」とした科目
 - ③ 学部で指定する科目（各学科の専門科目一覧表で確認すること）
- ※履修取消した授業科目は、GPA計算式からは除外される。

2. 「不可（D・F）」の科目を再履修して合格（単位修得）した場合、再履修前の「不可（D・F）」の成績はGPAの計算式に入らない。

- ・ 同じ科目名の授業でなければ「再履修」にはならない。
- ・ 「不可（D・F）」と成績評価された科目を、再び履修登録して合格した場合は、「可」以上（GP=2～4）の成績がGPAの計算式に入り、「不可」（GP=0, 1）の成績は合格した学期以降のGPA計算式から除外される。なお、再履修して再び「不可（D・F）」と成績評価された場合も、再履修後のGP値に置き換わる。
- ・ 授業は来年度も同じものが開講されるとは限らないため、再履修ができない場合もある。
「履修登録した科目は必ず合格する」という決意をもって履修すること。

■GPAの通知について

- ・ 学期毎に、キャンパス情報システム（Web）から、成績評価と、科目ごとのGP値及び学期毎・在学中の通算のGPA値が確認できる。
- ・ 学期毎及び在学中の通算GPA値を確認することで、学習成果の指標とすること。例えば、1年次前期のGPA値が2.0以下であった場合、1年次後期や2年次以降の学習に支障をきたす可能性が高いため、1年次前期の内容を復習すると同時に後期の勉強の準備をしっかりとすること。
- ・ なお、GPA値は担任との面談でも利用される。

学科横断教育プログラム（国際先進エネルギー材料プログラム）について

工学部が研究面で強みを持つエネルギー複合材料分野でイノベーションの核となる理工系人材を育成するため、学科横断教育プログラム（国際先進エネルギー材料プログラム）を設定する。優秀な学生を少数選抜し、学部3年次生からの7年（学部2年+大学院5年）一貫教育を実施する。学生は自学科の卒業要件に加えてプログラムに設定された科目を履修し、修了者にはプログラム修了証書を授与する。

■選抜時期

3年進級時

■出願資格…以下を全て満たすもの

2年までのGPA値が3.0以上の者（ただし、3.3以上が望ましい）

TOEIC(TOEIC-IP含む)スコアが500点以上の者

学科からの推薦を受けた者

学部卒業後、大学院5年一貫プログラムへの入学を希望している者

■出願時期

2年次、12月頃

■選抜方法

面接

■対象科目、履修方法等

開講学科名	科目名	対象学年	学期	プログラム上の分野区分
物質化学科	触媒化学	3年	後期	材料分野
電子情報システム工 学科	アルゴリズム基礎	2・3年	前期	【分野共通】
	エレクトロニクス概論	2年	後期	材料分野
	エネルギー工学概論	2年	後期	エネルギー分野
水環境・土木工学科	環境エネルギー工学	3年	後期	【分野共通】
機械システム工学科	自然エネルギー利用学	4年	前期	エネルギー分野
建築学科	建築環境工学Ⅰ	2年	前期	環境サイクル分野
【共通】	先鋭研究特別講義	4年	通年(予定)	【分野共通】

・学生はベースとなる学科に所属し、8科目16単位のうち、所属学科以外の科目を「8単位」修得する。

・プログラム上の分野区分には、必要単位数や制限を設けない。

・プログラム履修学生にとってのプログラム対象科目をGPAから外す。

・プログラム履修学生に対しては、授業内で英語によるレポート、プレゼン等が指示されることがある。

・上記以外に、大学院修士課程、総合理工学研究科共通科目「Introduction to Modern Astrophysics」の先取り履修が可能。単位が取得できれば、学部ではプログラム対象科目としてカウントされる。大学院修士課程に入学後は、当該研究科の入学前既修得科目認定制度により、修了要件内の科目として単位認定される。

・その他の大学院修士課程の科目についても、プログラム履修学生による先取り履修が可能か、検討中。

・卒業研究は、「海外研修（インターンシップ、協定校等での単位修得など）」＋「プロジェクト実験」又は卒業論文提出とする。

■優遇措置

・海外留学をする際、「トピタテ！留学Japan」等の奨学金申請にあたりサポートを受けられる。

・TA、RAに関してプログラム履修学生を優先する。

・大学院修士課程への入学試験においてプログラム履修学生推薦を検討中。

■その他

詳細は学務係窓口①～④にて6月1日から資料を配布する。

問い合わせ先：工学部学務係 tel 026-269-5051

先取り履修制度について

「先取り履修制度」とは、大学院授業科目を学部生のうちに先取り履修し、本学大学院総合理工学研究科に進学後、当該専攻が定めた上限単位数の範囲内において、大学院の「修了に必要な単位」として認定（既修得認定）する制度のことである。これにより、修士課程における研究等に十分な時間が活用できたり、早期修了が可能となることがある。詳細は2年次以降に工学キャンパスで配布する「履修案内」冊子を参照。

休学・退学・転学科・転学部

(※注) 休学、復学、休学延長及び退学のように学籍に関わる身分の異動を希望する者は、**原則1カ月前までに工学部学務係へ申請**をすること。(ただし、転学科、転学部の申請時期等は別途要確認)
申請する前に、所属学科の補導(担任)教員及び保証人(親等)と十分に相談し、承諾を得ること。
申請用紙は学務係で配付する。申請期限に間に合わない等、その他不明な点は、早めに工学部学務係へ相談すること。【問い合わせ先 tel 026-269-5057】

休学

次の理由により、引き続き3か月以上修学することができない者で、休学を希望する者は、事前に所定の休学願により願い出て、学長の許可を得なければならない。
なお、下記以外の理由では休学は許可されないので注意すること。

- 病気のため……願に加療期間が明記された医師の診断書を添付
- 経済的理由のため……願の申し立て欄に詳細な事由を記載
- 留学のため[大学との交流協定によるものは除く]……留学先の入学許可書等を添付
- 公共的な事業に参加するため[国又は地方公共団体等の求めによる場合]……願の申し立て欄に詳細な事由を記載

【注意事項】

- 期 間……1回の申請により休学できる期間は、3か月以上1年以内。
- 授業料……休学中は、授業料を支払う必要はない。
- 在学年数……休学している期間は、卒業に必要な在学年数にカウントされない。
よって、卒業が延期されることになる。(9月卒業制度あり)
また、休学中に卒業は出来ないので注意すること。
- 復 学……許可された休学期間が満了する際は、復学の手続きを行うこと。
- 休学延長……許可された休学期間の満了後、延長して休学したい場合、延長申請の手続きを行うこと。
ただし、通算休学可能期間は4年間までである。

退学

退学を希望する者は、事前に理由を付して所定の退学願の様式により願い出て、学長の退学許可を得ること。
なお、退学希望期日に属する学期の授業料を完納しなければ、退学は許可されない。

転学科

- 転学科を希望する者は、早めに学務係へ申し出て指示を受けること。
- 出願資格：推薦入学により入学した者は除く。
 - 2年次の学年始めへの受入を原則とする。
 - 異動時期は年度初めのみ。年度途中の転学科は出来ない。
 - 転学科希望者は、転学科先の学務委員へ願い出て、出願の許可をえること。
また、転学科しようとする前年の12月中に工学部学務係へ申出を行い、翌年の1月中旬から1月末日までに転学科願を工学部学務係へ提出すること。
 - 申請後、学務委員会の議を経て、代議員会で決定する。(試験方法等の詳細は、申請後に通知する。)

転学部

- 転学部を希望する者は、希望する学部学務係へ各自早めに問い合わせること。
- 工学部生において、推薦入学者は転学部を認めない。
 - 異動時期は年度初めのみ。年度途中の転学部は出来ない。
 - 申請時期や審査方法等は、学部によって異なる。

休学・退学は許可制です。

学期末(9月・3月)までに
手続きし許可されないと
次学期分の授業料請求が発生します

ここに掲載していない手続きや詳細については、各種ガイダンス・関係資料・掲示等で説明する。

■「学生相談窓口」について

1年生（松本キャンパス）……………学生相談センター窓口（全学教育機構南校舎1F）

2年生以降（長野キャンパス）……………工学部学務係窓口（E3棟1F）

長野（工学）キャンパスでは、学務係窓口のほか、保健室において専門のカウンセラーが担当するので、気軽に何でも相談すること。

<長野工学キャンパス>

保健室URL：<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/hoken/hoken.htm>

カウンセラーによる学生相談申込のWEB予約フォーム：

上記保健室のホームページ内、又は、ACSU (<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/ActiveCampus>) から予約できる。

■学生への伝達

学生への伝達等は、すべて学内掲示板及びキャンパス情報システム（PC又は携帯電話）で行う。

URL及び工学部ほか問い合わせ先は、巻末「Address & 問合せ先」を参照すること。

■住所変更等の届け出

本人又は帰省先等の住所・電話番号等に変更があった場合は、キャンパス情報システムから変更登録をすること。変更登録を怠ると、大学からの緊急時の連絡がとれず修学に支障をきたすなど不利益になる場合があるので注意すること。（保証人については学務係窓口でのみ変更可能であるため、直接申請すること）

■日本学生支援機構（日本育英会）奨学生について

奨学金は学業・人物ともに優秀であり、学資の支弁が困難と認められる学生に対し貸与されるものである。募集等の連絡は掲示板で連絡する。

◇独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

奨学金を希望する学生は大学を通じて募集期間内に手続きすること。

また、家計に急激な変化が生じた学生は、随時、担当窓口へ相談すること。

◇日本学生支援機構以外の奨学金

大学を通じて募集するものは掲示板にて通知する。

地方公共団体の奨学金を希望する場合は、各自で直接それらの団体へ問い合わせること。

■授業料免除制度（申請時期……3月、後期分の中途申請も可）

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生については、選考の上、その期に納付すべき授業料の全額又は半額が免除される制度がある。授業料免除を希望する学生は、免除説明会で申請書類を受取り、必要事項を記入の上、添付書類を添えて期限までに学務係（1年次は学生総合支援センター）へ申請すること。説明会等の詳細は掲示により通知する。

■課外活動施設の使用

長野工学キャンパスの施設を使用する場合は、学務係窓口において、予約簿を確認の上、所定用紙により、使用3日前までに学務係へ願い出て、許可を受けること。

■工学部学生寮「若里寮」（2年生以降、長野工学キャンパスのみ）

入寮を希望する者は、後頁「信州大学工学部寄宿舎若里寮規程」を参照すること。

■構内の交通規制

- ・自動車での通学は禁止。（身体障がい等の特別な事情の場合を除く）
- ・自転車、二輪車（バイク）は、構内の指定された駐輪場へ駐輪すること。（バイクの構内走行は禁止）
- ・公道への違法駐車及び大学周辺への迷惑駐車は厳禁。

■構内での禁煙

- ・平成28年4月から構内での喫煙は禁止。

大学生は負荷の大きい年代



- 統合失調症、自閉スペクトラム症、摂食障害、不安障害、心身症、うつ病 etc...

※最悪の場合、自殺に結びつくケースもある。
平成27年の15~19歳、20~24歳の死因の第1位(7.5%、17.5%)が自殺、第2位不慮の事故(4.9%、6.1%)、悪性新生物(2.5%、2.9%)

⇒ 身体的健康と共に精神的健康にも配慮が必要。

学生生活での注意点



総合健康安全センター 工学部分室
カウンセラー 山崎 勇

学生生活の実際



1. 進級・卒業

- コマ数は少ないが、大学の勉強は難しい。
授業のコマ数は少ないが、予習1.5コマ、復習1.5コマを前提とした授業の難易度。
- 思っていた内容と違う。興味が持てない。
→ 内容が難しいだけにモチベーションがないと授業を続けることが難しい。進路変更も一つの選択肢。
- 単位が取れなければ、進級・卒業ができない。
→ これまでにない、厳しい環境。
≡ 大学では入学者全員が卒業するわけではない。
※逆に言うと、留年しても8年間にはチャンスがある。

学生生活の実際



2. 学業・研究活動

- 自発的な取り組みを求められる。
受け身的に知識を与えられるのではなく、自ら調べ・考える姿勢が求められる。
- ノルマ・締切は厳守。
他の学生との公平性は厳格に守られます。
- 正解のない課題
研究には決まった「正解」があるわけではない。自分で目標設定をする。
- 終わりのない目標。
ここまでできたら終わりというような終着点がない。

学生生活の実際

3. 就職活動・進学

- これまでの人生で最大の決定。一人の大人として今後の人生の方向性を決断する。
- 学生生活の結果としての総合力を試される。学業成績だけでなく、コミュニケーション能力、自発性など、マルチな能力を求められる。
- 自分の能力・実力を客観的に評価する。できることだけでなく、実力不足も認めて「あきらめる」ことも求められる。「身の丈を知る」ことが重要。
- 「大学院に進学すればよい企業に就職できる」は誤り。学位は就職の道具ではない。企業は学業・研究活動の中で何を身につけてきたかを試してくる。

学生生活の実際

4. 学業以外の活動

- 学業だけでは社会人としての経験が不足する。サークル活動、ボランティアなど学業以外の活動が多様な成長につながる。
- 活動のバランスを考える。何が重要かを考えて優先順位とバランスを考える。→Web上で出席状況を把握することができる。
- 友人は大切な資源。助けてくれる友人がいることが、卒業までの道のりにとって大きな資源となる。
- 学生は責任を負う必要のない子供ではない。不適切な行動があった場合には懲戒の対象となる。



大学生生活は失敗の連続

- 履修登録、学外実習、一人暮らし、アルバイト、サークル活動、ボランティア、就職活動など、大学では様々な「初めての体験」がある。
- 「初めての体験」には失敗がつきもの。失敗すればストレスが生じ、不適応状態を招きやすくなる。
- しかし、全くストレスのない生活は、学生の成長の妨げとなる。
- 大学でのつまづきは「幸運」
大学でのつまづきは取り返しがつく。
= 失敗しないようにするのではなく、失敗を顧みず挑戦し、失敗から学ぶことが重要。

複数の対処法を持つ重要性

- 友人に相談するのは実行しやすい対処法。
 - 両親は一番身近な支援者。
 - 先生は雲の上の存在ではない。
 - 障害の診断がある場合には、大学に配慮を求めることも可能。(障害学生支援室)
※求めることすべてがかねえられるとは限らない。
 - 専門家による支援を求めるのも選択肢の一つ。大学にはそれぞれの専門性を持った相談窓口が用意されている。
- ※ただし、自分から支援を求めることが必要。**

大学の支援窓口



- <履修、授業、成績、奨学金など>
- 共通教育支援室(松本):0263-37-2978
 - 工学部学務係(長野):026-269-5051
- <進路、キャリア、就職窓口>
- キャリアサポートセンター(松本):0263-37-3164
 - 工学部就職支援室(長野):026-269-5594
026-269-5595
- <海外留学、留学生の生活トラブルなど>
- グローバル教育推進センター(松本):0263-37-2429

大学の相談窓口



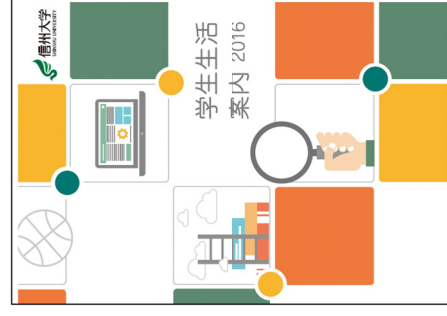
- <ハラスメント相談窓口>
- ハラスメント相談員・EP委員会
epiinkai@shinshu-u.ac.jp
- ※ハラスメント
教員－学生間、学生－学生間で生ずる、人権を
侵害するような嫌がらせ。
- <困ったらとりあえずここに相談!!>
- 学生相談センター(松本): 0263-37-3165

大学の支援窓口



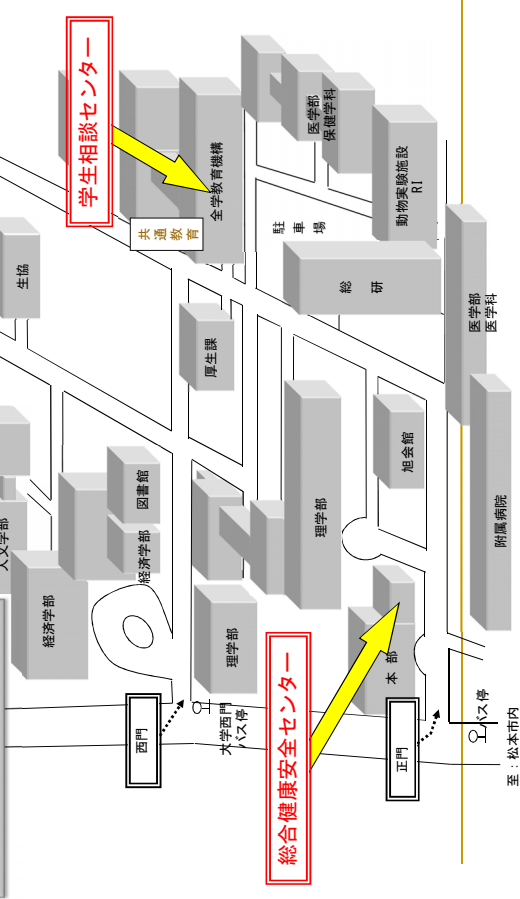
- <心身の健康、悩みの相談など>
- 総合健康安全センター(松本):0263-37-2157
 - 総合健康安全センター工学部分室(長野)
:026-269-5077
 - 学生相談センター/障害学生支援室
:0263-37-3165
- <課外活動、寮生活、経済支援など>
- 学生総合支援センター(松本)
課外生活:0263-37-2187
経済支援:0263-37-2199

配布物には必ず目を通してください



何でも相談して下さい！

信州大学旭キャンパス

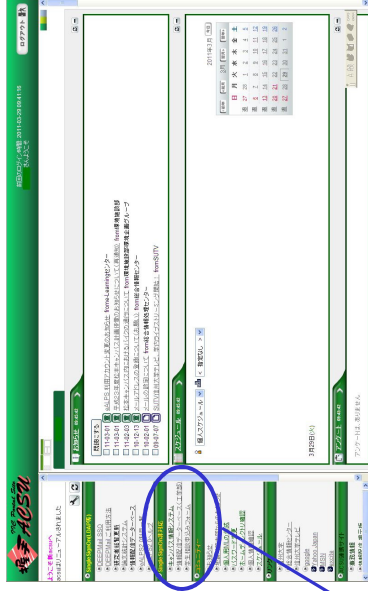


至：松本市内

工学部保健室 (C6の建物)



Webでの相談予約(工学部生のみ)



保護者の皆様へのお願い

- 大学生になったからといっていきなり大人になれるわけではありません。上手くいかないこともたくさんあります。
- 大学は学生のプライバシー・個人の自由に踏み込むことはできません。大学にできる支援には限界があります。
- 保護者の皆様は今でも学生の最大の理解者であり支援者です。これからも学生の成長を見守り、応援してあげてください。
- 各相談窓口では保護者の皆様からの相談も受け付けております。お気軽にご相談ください。

[MEMO]

2017年4月4日

信州大学工学部新入生の皆様

信州大学工学部の教育体制等に対するアンケートへの協力をお願い

信州大学工学部長 半田 志郎

この度はご入学おめでとうございます。

工学部では、学生教育の実を上げるべく種々の取り組みをしており、これまで在学生への授業アンケート、卒業生・就職先の企業へのアンケート等を行い、教育体制へ反映させてまいりました。今回は、新入生の皆様から見てどのようにお考えになれるかのご意見を伺いたく、アンケートを実施いたします。

いただきましたご回答を参考にし、より良い教育体制を構築していきたいと考えています。お手数とは存じますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

<情報の取扱いについて>このアンケートにより得た情報は、今後の教育体制検討のための目的以外には使用しません。

以下の設問のうち、該当するものにチェックを付けてください。（1つのみ選択するもの、複数回答可のもの、順位をつけるものなどがあります）

1) あなたの所属学科、性別にチェックを付けてください。

学科 物質化学科 電子情報システム工学科 水環境・土木工学科
機械システム工学科 建築学科

性別 男子 女子

2) 大学入学までの手続き等のうち、ご家族（親）ではなく、自分で実際に行ったのは、次の項目のどれですか？（複数回答可）

大学選び オープンキャンパス等の情報収集 入学願書取り寄せ 大学への電話問い合わせ
入学願書作成・提出（検定料の銀行振込以外） 入学書類作成・提出（入学料の銀行振込以外）
検定料・入学料等の銀行振込 その他（下記に具体的にご記入ください）

[]

3) 国際化促進・企業等からの語学力に対する要望という観点から、年2回、1年生全員の TOEIC-IP 試験受験を義務付けています。また、留学のための支援もいくつか（例：長期交換留学・短期留学、留学情報の発信等）行っています。国際化促進等の試みについてどのようにお考えでしょうか？

必要 どちらかという必要 どちらでもない どちらかという不必要 不必要
⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

《裏面へつづく》

4) 工学部生に必要な科目は、次のどの科目だとお考えでしょうか？(順位を3つまでご記入ください)

国語 社会 数学 物理 化学 地学 生物 英語

⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

逆に工学部生に必要ない科目は、次のどの科目だとお考えでしょうか？(順位を3つまでご記入ください)

国語 社会 数学 物理 化学 地学 生物 英語

⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

5) これからの大学生活において、ご家族(親)とどの程度連絡を取り合う予定(お考え)か、ご回答ください。

毎日 2~3日おき 1週間に一度 数週間に一度 1ヶ月に一度

2~3ヶ月に一度 半年に一度 1年に一度 何かあった時のみ連絡を取る

⇒ 理由・ご意見・ご希望などありましたらご記入ください

[]

6) 次の項目のうち、あなたが今までに、自分だけで実際に「したことがある」ものをご回答ください。(複数回答可)

一人暮らし 寮生活 料理 洗濯 掃除 生活用品の調達 アルバイト

銀行口座開設 市役所での諸手続き 光熱水料・電話料金の契約や支払

その他(下記に具体的にご記入ください)

[]

7) 悩み事を相談できる友達はいますか？

いる いない SNS上(匿名)の相手になら相談できる

8) あなたの将来の夢はありますか？ 大学卒業後のイメージなどありましたらご記入ください。

ある ⇒ 下記に具体的にご記入ください ない

[]

9) その他、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

[]

ご協力、ありがとうございました。

本日午後の学科別ガイダンス（学生のみ出席）の際にご提出ください。
保護者の方は学生にお預けください。

2017年4月4日

信州大学工学部新入生 保護者の皆様

信州大学工学部の教育体制等に対するアンケートへの協力をお願い

信州大学工学部長 半田 志郎

この度はご入学おめでとうございます。

工学部では、学生教育の実を上げるべく種々の取り組みをしており、これまで在学生への授業アンケート、卒業生・就職先の企業へのアンケート等を行い、教育体制へ反映させてまいりました。今回は、新入生の保護者の皆様から見てどのようにお考えになれるかのご意見を伺いたく、アンケートを実施いたします。

いただきましたご回答を参考にし、より良い教育体制を構築していきたいと考えています。お手数とは存じますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

<情報の取扱いについて>このアンケートにより得た情報は、今後の教育体制検討のための目的以外には使用しません。

以下の設問のうち、該当するものにチェックを付けてください。（1つのみ選択するもの、複数回答可のもの、順位をつけるものなどがあります）

1) お子様の所属学科、性別にチェックを付けてください。

学科 物質化学科 電子情報システム工学科 水環境・土木工学科
機械システム工学科 建築学科

性別 男子 女子

2) 例年、入学式後に、学部全体ガイダンス・保護者ガイダンスを行っています。入学式後に行うこのようなガイダンスについて、どのようにお考えでしょうか？

必要 どちらかという必要 どちらでもない どちらかという不必要 不必要
⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

3) 工学部では、毎学期終了ごと（9月，3月）に学生の成績表を保護者に郵送で通知しています。成績通知を行うことに関して、どのようにお考えでしょうか？

必要 どちらかという必要 どちらでもない どちらかという不必要 不必要
⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

《裏面へつづく》

4) 国際化促進・企業等からの語学力に対する要望という観点から、年2回、1年生全員の TOEIC-IP 試験受験を義務付けています。また、留学のための支援もいくつか（例：長期交換留学・短期留学、留学情報の発信等）行っています。国際化促進等の試みについてどのようにお考えでしょうか？

必要 どちらかというが必要 どちらでもない どちらかというと不必要 不必要

⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

5) 工学部生に必要な科目は、次のどの科目だとお考えでしょうか？（順位を3つまでご記入ください）

国語 社会 数学 物理 化学 地学 生物 英語

⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

逆に工学部生に必要な科目は、次のどの科目だとお考えでしょうか？（順位を3つまでご記入ください）

国語 社会 数学 物理 化学 地学 生物 英語

⇒ 理由・ご意見・ご要望などありましたらご記入ください

[]

6) これからの大学生活において、お子様とどの程度連絡を取り合う予定（お考え）かご回答ください。

毎日 2～3日おき 1週間に一度 数週間に一度 1ヶ月に一度

2～3ヶ月に一度 半年に一度 1年に一度 何かあった時のみ連絡を取る

⇒ 理由・ご意見・ご希望などありましたらご記入ください

[]

7) 次の項目のうち、お子様が今までに、自分だけで実際に「したことがある」ものをご回答ください。

（複数回答可）

一人暮らし 寮生活 料理 洗濯 掃除 生活用品の調達 アルバイト

銀行口座開設 市役所での諸手続き 光熱水料・電話料金の契約や支払

その他（下記に具体的にご記入ください）

[]

8) その他、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

[]

ご協力、ありがとうございました。